

主催：公益社団法人 日本写真家協会・日本写真保存センター

写真展 「後世に遺したい写真」

—写真が物語る日本の原風景—

「写真は時代の鏡」と語られる、すぐれた「記録メディア」であることを疑う人はいない。

日本写真保存センターでは、先人が遺した写真原板から、大正、昭和の大衆文化、戦争への足音、空襲、被爆から敗戦と過酷な体験を経て、復興、経済発展へと歩んできた、日本人の歴史を約100点の写真で構成し展示いたします。今回の写真展では品川区ゆかりの写真家 笹本恒子、若目田幸平、諸河久、品川歴史館所蔵の中村立行氏作品の展示も予定しています。わが国の文化財の記録、日本人の暮らしの記録を、貴重な写真では是非ご堪能ください。

会期：平成30年10月25日(木)～11月24日(土)

会場：光村グラフィック・ギャラリー(MGG)

住所：東京都品川区大崎 1-15-9 光村印刷ビル1F

時間：11時～19時(平日) 11時～17時(祝日・土曜日)

休館日：日曜日

入場料：無料

主催：公益社団法人日本写真家協会・日本写真保存センター 共催：光村印刷株式会社

後援：品川区、公益財団法人品川文化振興事業団 協力：一般社団法人日本写真著作権協会

◆作品解説：随時、会場内で写真家協会員が行います。

◆講演会：「残された写真から何を読み取るか」

会場：光村グラフィック・ギャラリー

日時：平成30年10月27日(土)13時30分～15時

(13時20分までに会場にご集合ください)

テーマ：「残された写真から何を読み取るか」

参加費：無料(定員60名・事前申し込み)

講師：天野太郎氏(横浜市民ギャラリー主席学芸員)、松本徳彦氏(日本写真家協会副会長)

※FAXおよび、日本写真保存センターホームページ

(<http://www.photo-archive.jp>)より、お申し込みください。

Fax: 03-3265-7460 e-mail: info@jps.gr.jp

氏名

e-mail

連絡先 〒

電話

Fax

*ご記入いただいた個人情報は、日本写真家協会が開催する研究会のご案内の目的のみに使用させていただきます。
*Faxでお申込みの際は、上記空欄に必要事項を記入し、ご送信ください。

公益社団法人**日本写真家協会**

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 JCHビル303 TEL-3265-7451